

自死総合対策
シンポジウム

第15回日司連市民公開シンポジウム

自殺予防と自死遺族支援
～いのちの現場で考える

自殺を減らす、自死遺族をささえる

—いま、なすべきことは

社会でまもる人間の「いのち」

平成20年**8月9日(土)**

受付 午後1時30分～ 開始 午後2時～
終了 午後5時(但し、延長もあり)

司法書士会館地下ホール

(東京都新宿区本塩町9番地3)

10年連続で、年間の自殺者数が3万人を超えるという現実には市民一人一人はどう向き合うのか。

また、医療や福祉、法律などに携わる専門家はどのように取り組むのか。その答えを模索し、実践することは、現在の切実な課題である。この課題の達成には、市民、民間団体、行政、各種の専門家が、各自が持つ特長を生かしながら、手を携えて自殺防止、自死遺族支援に取り組むことが必要である。

そのための仕組みをどのように構築するのか、考える。

プログラム

午後1時30分 受付開始
午後2時 開会・主催者あいさつ

午後2時10分 基調講演
「わからない。でも、わかりたい。」
自殺者数10年連続3万人突破の現状を踏まえ

講師●山口和浩氏
(NPO法人自死遺族支援ネットワークRe代表)

午後3時 パネルディスカッション
「いのち」をどう支えるのか

パネリスト●
柳澤光美氏
(自殺防止対策を考える議員有志の会・参議院議員)

加藤久喜氏
(内閣府自殺対策担当参事官)

大塚俊弘氏
(長崎県長崎こども・女性・障害者支援センター所長)

杉本脩子氏
(全国自死遺族総合支援センター代表幹事)

大塚淳子氏
(社団法人日本精神保健福祉士協会常務理事)

境 俊明氏
(日本司法書士会連合会理事)

コーディネーター●
齋藤幸光氏
(日司連地域連携対策部自殺対策担当)

午後5時 閉会あいさつ

主催◆日本司法書士会連合会

後援：法務省・内閣府・金融庁・東京都・社団法人日本精神保健福祉士協会・NPO法人自殺対策支援センターライフリンク

講師プロフィール



山口 和浩

NPO法人自死遺族支援
ネットワークRe代表

- **学歴**
1999年3月 長崎県立川棚高等学校卒業
2003年3月 長崎大学教育学部卒業
- **職歴**
2003年4月 社会福祉法人カメラア
「大村梧の森学園」入社
2007年4月 同法人を退職し、NPO法人
ライフリンクにて活動
2008年3月 社会福祉法人カメラア
「大村梧の森学園」退職
2008年4月 医療法人カメラア
「大村共立病院」入社(現職)
- **活動等**
2006年4月 自助グループ
「自死遺族会Re:」設立
2007年2月 「NPO法人自死遺族支援ネッ
トワークRe」設立(代表)

<関係書籍>

『自殺って言えなかった。』(サンマーク出版、あしなが育英会他編 2002年11月)

『ほくのお父さんは自殺した』(そうえん社、今西乃子著 2007年12月)

『自死遺族の現状と支援』(日精協誌 vol25(12) ;39-44,2006)

<その他>

14年前に父親を自殺で亡くす。父親の自殺のことを誰にも語る事ができずにいたが、あしなが育英会のキャンプに参加してはじめて自身の体験を語り、語れずに苦しむ仲間がいることを知り、「ひとりじゃない」ことを実感する。

同じように自殺で家族を亡くした仲間と語り合いを続け、2000年に作文集『自殺って言えない。』、2002年に単行本『自殺って言えなかった。』にそれぞれ参加するなど、自殺問題に関わり始める。2007年には、大村梧の森学園を退職して、NPO法人ライフリンクにて活動をする。

パネリストプロフィール



柳澤 光美 自殺対策を考える議員有志の会・参議院議員
<略歴>
長野県立上田高校卒/成城大学卒/銚子トヨーカ堂入社後、労働運動に従事/1998年 センセン同盟常任中央執行委員/2004年 参議院議員当選。厚生労働委員会、内閣委員会などに所属/2006年 自殺対策を考える議員有志の会として「自殺対策基本法」成立に関わり、現在は事務局長に至る。



杉本 侑子 全国自死遺族総合支援センター代表幹事
<略歴>
1967年 スイス・ジュネーブ音楽院卒。1984年に、夫を病気で亡くしたことをきっかけに「生と死を考える会」に参加。1990~2001年 同会事務局長、2001年同会NPO法人化後2007年3月まで副理事長をつとめ、遺族支援活動に携わってきた。2005年~ 「都内民間相談機関連絡協議会」事務局長。2008年1月~ 「全国自死遺族総合支援センター」代表幹事。2008年1月~ 内閣府自殺対策推進会議議員



加藤 久喜 内閣府自殺対策担当参事官
<略歴>
1983年 東京大学法学部卒業/1983年 建設省入省/1991年 熊本県企画開発部企画課長/2004年 国土交通省道路局道路資金企画室長/2006年 政策研究大学院大学教授/2008年 内閣府政策統括官(共生社会政策担当)付自殺対策推進室参事官 現在に至る



大塚 俊弘 長崎県長崎こども・女性・障害者支援センター所長
<略歴>
1987年 長崎大学医学部卒/1993年 同大学院博士課程修了/1987~1999年 長崎大学医学部附属病院、長崎県離島医療圏組合五島中央病院、佐世保市立総合病院等に勤務/1999~2003年 長崎県精神保健福祉センター所長/2003~2005年 長崎県福祉保健部健康政策課 医療監/2005~2007年 同医療政策課課長/2007年~ 長崎県長崎こども・女性・障害者支援センター所長
<関係書籍>
共著書：「家族教室のすすめ方」(後藤雅博編)金剛出版、1998./「精神科ケースライブラリー」(風祭 元編)中山書店、1998./「外傷後ストレス障害(臨床精神医学講座 special issue第6巻)」(松下正明総編)中山書店、2000./「学生のための精神医学」(太田保之編)医歯薬出版、2002./共訳書：「災害のもたらす心理社会的影響」創造出版、1995。



大塚 淳子 社団法人日本精神保健福祉士協会常務理事
<略歴>
1987年 明治学院大学大学院社会福祉学修士課程修了/1987~1992年 身体障害者授産施設社会福祉法人東京コロニー東村山工場勤務/1993~2003年 医療法人社団一陽会 陽和病院 生活相談室所属/2000~2003年 日本病院・地域精神医学会理事/2003~2005年 医療法人社団一陽会 こころのクリニック石神井/2005年~現職 社団法人日本精神保健福祉士協会常務理事/2008年~ 財団法人日本精神衛生会理事
<関係書籍>
『「現場」のちからー社会福祉実践における現場とは何か』(共著)誠信書房、2002./『障害者自立支援法ー地域生活支援の今後と精神保健福祉士の実践課題』(共著編)へるす出版、2005./「精神保健福祉士としてメンタルヘルズ課題をどう捉えるか」『精神保健福祉』vol.39/No.1 通巻73号、2008



境 俊明 日本司法書士会連合会理事
<略歴>
1958年10月 東京で生まれる/1986年12月 司法書士試験合格/1991年4月 司法書士登録、東京司法書士会入会
●司法書士会関連(歴任)：東京司法書士会中央支部支部長、東京司法書士会理事
●司法書士会関連(現任)：【東京司法書士会】消費者法等改正検討委員会委員/【日本司法書士会連合会】理事/【東京司法書士政治連盟】副会長



コーディネーター
齋藤 幸光 日司連地域連携対策部自死対策担当
<略歴>
1983年2月 司法書士登録(群馬会)/1989年5月~2001年5月 群馬司法書士会理事/2003年6月~2005年6月 日本司法書士会連合会理事
<関係書籍>
「自殺予防・自死遺族支援の現場から」(共著。民事法研究会)/「法の風景・列島の光と影」(民事法研究会)